

LR4/ER4/CWDM4/SR4 パワーメータ マニュアル

(P/N : EPSA-RG-0005)

【第2版】



⚠ 本製品の使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。

⚠ 本取扱説明書は英文取扱説明書の一部邦文訳ですが、全てにおいて英文取扱説明書の補助手段としてご使用ください。

目次

1. パワーメータの概要	2
1.1. インターフェース	2
1.2. ディスプレイ表示	3
1.3. バッテリ表示	3
2. 電源 ON/OFF	4
3. チャネルスキャン	4
3.1. LR4/ER4 チャネルスキャン	4
3.2. CWDM4 チャネルスキャン	5
3.3. SR4 チャネルスキャン	5
4. メニュー	6
4.1. OFFSET (VOLATILE)	6
4.2. USB, RS232C BAUDRATE	7
4.3. AUTO POWER OFF	7
4.4. KEYPAD LIGHT OFF	8
4.5. FILE SYSTEM	9
4.6. SET TIME	10
5. 通常のパワーメータ機能	11
6. 単位設定	11
7. グラフ表示	12
8. ファイル保存	13
9. ロード	13
10. 仕様	14
10.1. LR4/ER4/CWDM4/SR4 パワーメータ仕様	14
10.2. パワーメータ仕様(CWDM)	14
10.3. 一般仕様	14

1. パワーメータの概要

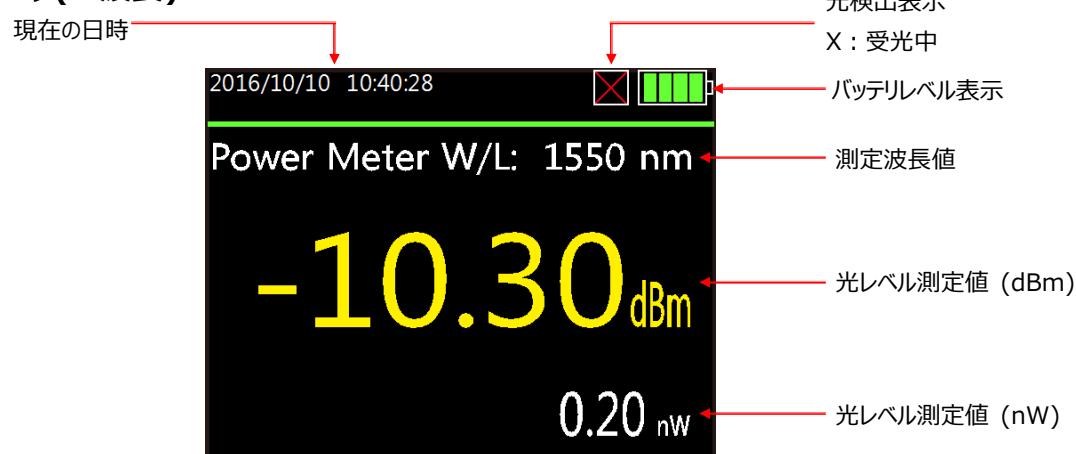
1.1. インターフェース

パワーメータのインターフェースおよび操作ボタンについて以下に示します。



1.2. ディスプレイ表示

< パワーメータ(1 波長) >



1.3. バッテリ表示

色	状態
赤点灯	充電中
緑点灯	充電完了
赤点滅	バッテリエラー

2. 電源 ON/OFF

電源ボタンで本体パワーメータの ON/OFF が可能です。

- 電源 ON : 電源ボタンを 1.5 秒以上押し続けると電源が ON になります。電源 ON 後はロゴが表示されます。
- 電源 OFF : 電源ボタンを 2 秒以上押し続けると電源が OFF になります。バックライトが消灯します。

※ 明るさ調整 : 電源 ON 後、再度電源ボタンを押すとバックライトの明るさ調整が 2 段階で可能です。



3. チャネルスキャン

各モードで光のレベルを測定します。

※ 光レベル測定時は、光ファイバ端面の清掃が必要です。端面に汚れ/キズなどがある場合は、正確な値を測定することができません。

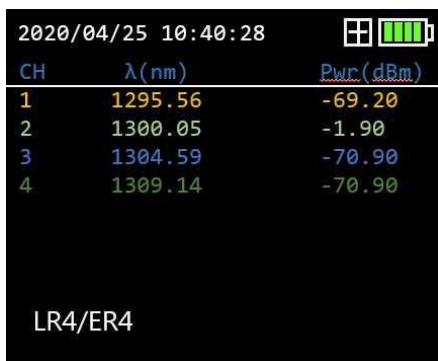
3.1. LR4/ER4 チャネルスキャン

LR4/ER4 の波長のみを測定します。

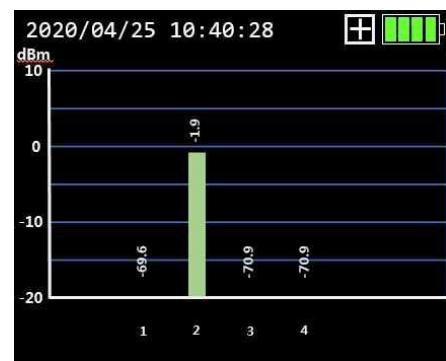
- (1) 電源 ON 後、ファイバを接続します。
- (2) LR4/ER4 ボタンを押し、測定します。

※ リアルタイム測定ではありません。再測定したい場合は、再度 LR4/ER4 ボタンを押してください。

- (3) グラフで表示したい場合は、Graph/TEXT ボタンを押すとグラフ表示に切り替わります。再度、Graph/TEXT ボタンを押すと TEXT 表示に戻ります。



LR4/ER4 : テキスト表示



LR4/ER4 : グラフ表示

3.2. CWDM4 チャネルスキャン

CWDM4 の波長のみを測定します。

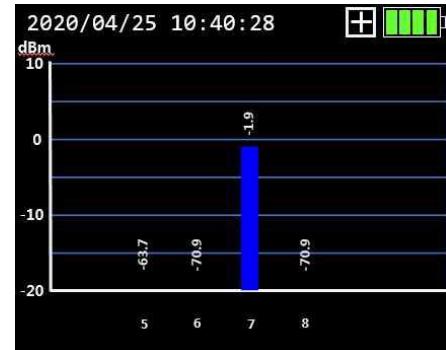
- (1) 電源 ON 後、ファイバを接続します。
- (2) CWDM4 ボタンを押し、測定します。

※ リアルタイム測定ではありません。再測定したい場合は、再度 CWDM4 ボタンを押してください。

- (3) グラフで表示したい場合は、Graph/TEXT ボタンを押すとグラフ表示に切り替わります。再度、Graph/TEXT ボタンを押すと TEXT 表示に戻ります。



CWDM4 : テキスト表示



CWDM4 : グラフ表示

3.3. SR4 チャネルスキャン

SR4 の波長のみを測定します。SR4 の測定には、マルチモードファイバを使用します。

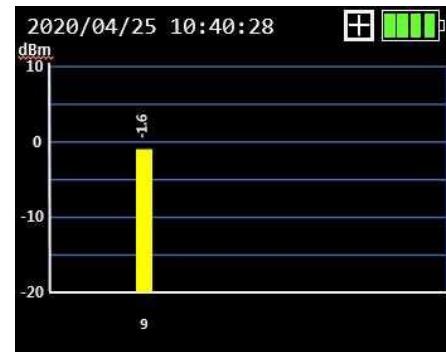
- (1) 電源 ON 後、ファイバを接続します。
- (2) SR4 ボタンを押し、測定します。

※ リアルタイム測定ではありません。再測定したい場合は、再度 SR4 ボタンを押してください。

- (3) グラフで表示したい場合は、Graph/TEXT ボタンを押すとグラフ表示に切り替わります。再度、Graph/TEXT ボタンを押すと TEXT 表示に戻ります。



SR4 : テキスト表示



SR4 : グラフ表示

4. メニュー

MENU ボタンを押すと画面に切り替わり、LR-4/ER-4 パワーメータの操作設定、システム情報などが設定/確認できます。

設定/確認項目	詳細
OFFSET(VOLATILE)	オフセット設定
USB, RS232C BAUDRATE	通信速度設定
AUTO POWER OFF	自動電源 OFF 時間設定
KEY LIGHT OFF	ボタンのバックライト自動 OFF 時間設定
FILE SYSTEM	ファイル管理
SET TIME	日時設定
SYSINFO	システム情報確認
CALIBRATION	メータ機能

4.1. OFFSET (VOLATILE)

測定値にオフセットを設定することができます。

- (1) MENU ボタンを押します。
- (2) 上下矢印ボタンで OFFSET(VOLATILE)を選択します。
- (3) 左右矢印ボタンでオフセットを設定します。

※ 設定値は、電源 OFF で初期値(0.00dBm(オフセットなし))に戻ります。

※ 設定範囲：±10.00dBm



4.2. USB, RS232C BAUDRATE

PC などと接続するための通信速度を設定することができます。

- (1) MENU ボタンを押します。
- (2) 上下矢印ボタンで USB, RS232C BAUDRATE を選択します。
- (3) 左右矢印ボタンで通信速度を設定します。(デフォルト : 115200bps)

※ 設定範囲 : 4800, 9600, 14400, 19200, 28800, 38400, 57600, 115200bps

※ 設定値は、電源 OFF でも保存されます。



4.3. AUTO POWER OFF

本体のオートパワーオフの時間を設定することができます。

- (1) MENU ボタンを押します。
- (2) 上下矢印ボタンで AUTO POWER OFF を選択します。
- (3) 左右矢印ボタンでパワーオフの時間(分)を設定します。(デフォルト : 255 分)

※ 設定範囲 : 0 ~ 255 分

※ 設定値は、電源 OFF でも保存されます。



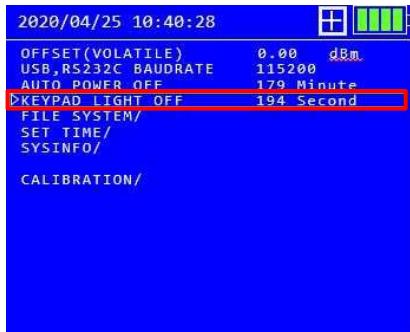
4.4. KEYPAD LIGHT OFF

ボタン操作部分の消灯時間を設定することができます。

- (1) MENU ボタンを押します。
- (2) 上下矢印ボタンで KEYPAD LIGHT OFF を選択します。
- (3) 左右矢印ボタンで消灯時間(秒)を設定します。(デフォルト : 255 秒)

※ 設定範囲 : 0 ~ 255 秒

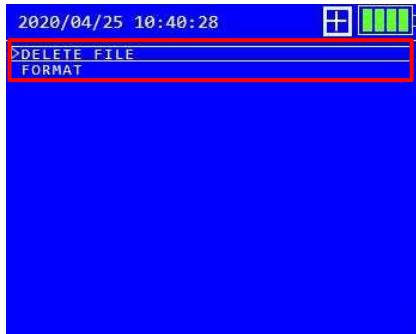
※ 設定値は、電源 OFF でも保存されます。



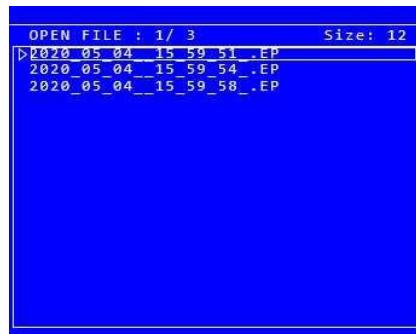
4.5. FILE SYSTEM

本体内部に保存したデータを削除することができます。

- (1) MENU ボタンを押します。
- (2) 上下矢印ボタンで FILE SYSTEM を選択して、ENT ボタンを押します。
- (3) 上下矢印ボタンで削除方法を選択して、ENT ボタンを押します。



- DELETE FILE : 選択したファイルのみを削除します。
- A) 上下矢印ボタンで削除するファイルを選択します。
 - B) ENT ボタンを押してファイルを削除します。



- FORMAT : 保存されている全てのファイルを削除します。(フォーマット)
- A) 確認メッセージが表示されます。
 - B) 1 ボタンを押すとフォーマットされ、全てのファイルが削除されます。0 ボタンを押すとファーマットを中止します。

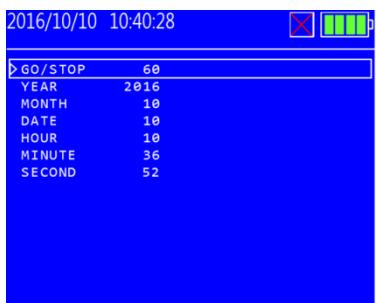


※ 削除したデータは、元に戻すことができません。注意してください。

4.6. SET TIME

現在の日時を設定することができます。

- (1) MENU ボタンを押します。
- (2) 上下矢印ボタンで SET TIME を選択して、ENT ボタンを押します。
- (3) 上下矢印ボタンで設定する項目を選択して、左右矢印ボタンで設定します。
※ GO/STOP: STOP を設定すると日時が停止します。(通常は、GO を選択します。)
※ ESC ボタンで画面を戻すと設定値が自動的に保存されます。



5. 通常のパワーメータ機能

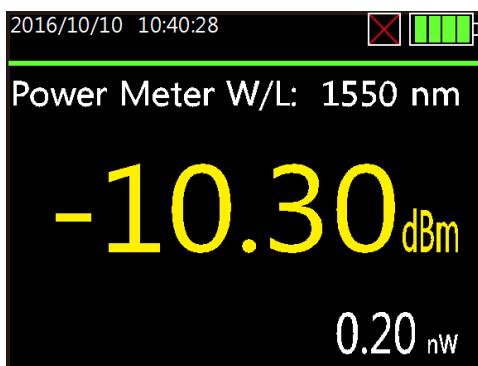
LR-4/ER-4 の波長測定以外に通常のパワーメータ(1 波長分)としても使用することができます。

- (1) Power meter ボタンを押します。
 - (2) 測定する波長を入力して、ENT ボタンを押します。受光レベルが表示されます。
- ※ 電源 ON 時は、通常のパワーメータモードで起動します。
- ※ 波長値は、1 回入力後、上下左右の矢印ボタンで変更できます。



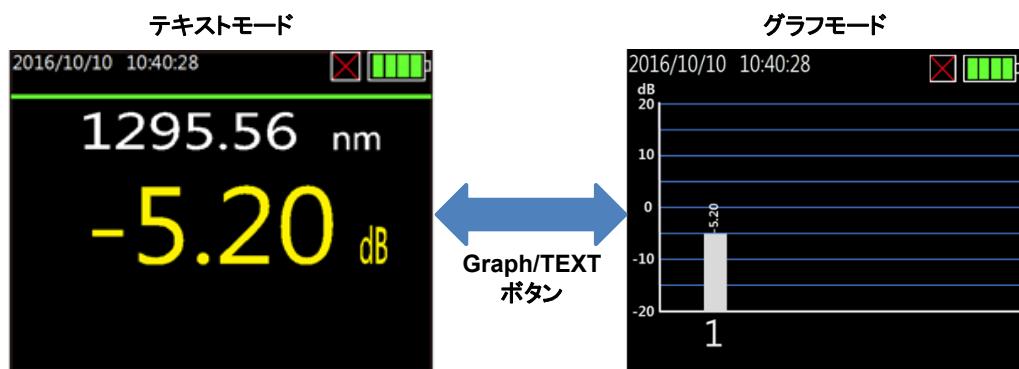
6. 単位設定

測定値の単位を切り替えることができます。電源 ON 時は、自動的に絶対値(dBm/mW)で表示されます。dB/dBm ボタンを押すと相対値(dB)表示に切り替えることができます。相対値表示は、dB/dBm ボタンを押したときの dBm 値を基準値として相対値で表示されます。



7. グラフ表示

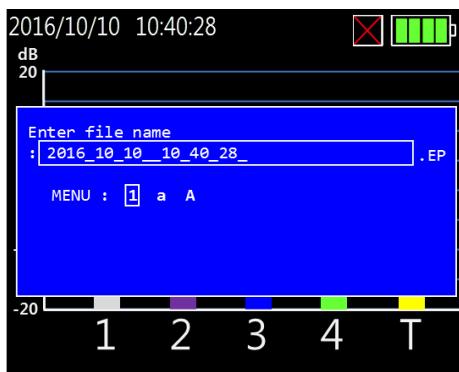
Graph/TEXT ボタンを押すと測定結果がグラフ表示に切り替わります。グラフ表示後、再度 Graph/TEXT ボタンを押すと TEXT 表示に戻ります。



8. ファイル保存

測定結果を本体内部に保存することができます。

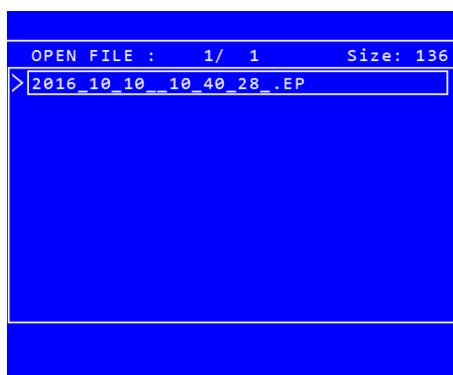
- (1) 測定完了後、SAVE ボタンを押します。
- (2) ファイル名を入力して、ENT ボタンを押します。本体内部に保存されます。
 - ※ 入力間違え時は、ESC ボタンで削除することができます。(ESC ボタン = Backspace)
 - ※ セーブを中止したい場合は、ESC ボタンでファイル名を全て削除します。
 - ※ 最大 100 ファイル保存することができます。



9. ロード

保存したファイルをロードして本体で確認することができます。

- (1) OPEN ボタンを押します。
- (2) 上下矢印ボタンでロードするファイルを選択して、ENT ボタンを押します。画面に表示されます。
 - ※ ロードしたファイルも Graph/TEXT ボタンで表示を切り替えることができます。



10. 仕様

10.1. LR4/ER4/CWDM4/SR4 パワーメータ仕様

パラメータ	単位	値
中心波長	LR4/ER4 (*1)	1295.56 / 1300.05 / 1304.58 / 1309.14
	CWDM4 (*1)	nm 1271 / 1291 / 1311 / 1331
	SR4 (*2)	850
測定単位	-	dBm/dB/mW
測定範囲	dBm	-40 ~ +10
測定精度	dB	+/- 0.5
分解能	dB	0.01
しきい値範囲	dB	-70 ~ +10

*1 : シングルモードファイバ

*2 : マルチモードファイバ

10.2. パワーメータ仕様(CWDM)

パラメータ	単位	値
測定波長範囲	nm	1260 ~ 1620
受光レベル	dBm	-40 ~ +20
測定精度	dB	+/- 0.5
測定単位	-	dBm/dB/mW
分解能	dB	0.01

10.3. 一般仕様

パラメータ	詳細
大きさ	210mm × 80mm × 48mm
重さ	0.5 kg
光コネクタ形状	LC/UPC
操作環境温度	0°C ~ 50°C
保管環境温度	-40°C ~ 70°C
湿度	0% ~ 90% ただし、結露しないこと



【 製造元 】

East Photonics, Inc.



【 販売元 】

原田産業株式会社 AIF チーム

Tel : 03-3213-8391 / Fax : 03-3213-8399

URL : <http://infocom.haradacorp.co.jp>

E-Mail : sales-info@haradacorp.co.jp